

# Geophysics

Atmospheric  
Physics



Environmental  
Geoscience

Meteorology

Climatology



Geoelectromagnetism

Volcanology



Geothermal  
Science

Geodesy



Seismology

Active  
Tectonics

Hydrology



Oceanography

## ウェゲナー祭

### 理学部 地球惑星科学系 オープンラボ 2023

日時: 2023年6月9日(金) 16:45 ~ 19:45

会場: 理学部1号館 および オンライン

内容: ① 大学院生が語る地球惑星科学

② 各研究室の研究紹介・演示実験

③ 若手研究者座談会

詳細は裏面へ 

以下の申し込みフォームから事前申込をお願いします。  
オンライン参加は事前申込必須です。(申込〆切 **6/8**)



申し込みフォーム →



←(HP) <http://www.eps.sci.kyoto-u.ac.jp>

# Geology and Mineralogy

Sedimentology



Paleontology



Mineralogy



Structural Geology



Historical Geology

Petrology

Geochronology

Geochemistry

# ウエゲナー祭

京都大学理学部 地球惑星科学系 オープンラボ

メイン会場： 理学部 1号館 5階 563号室  
プログラム： 2023年6月9日(金)

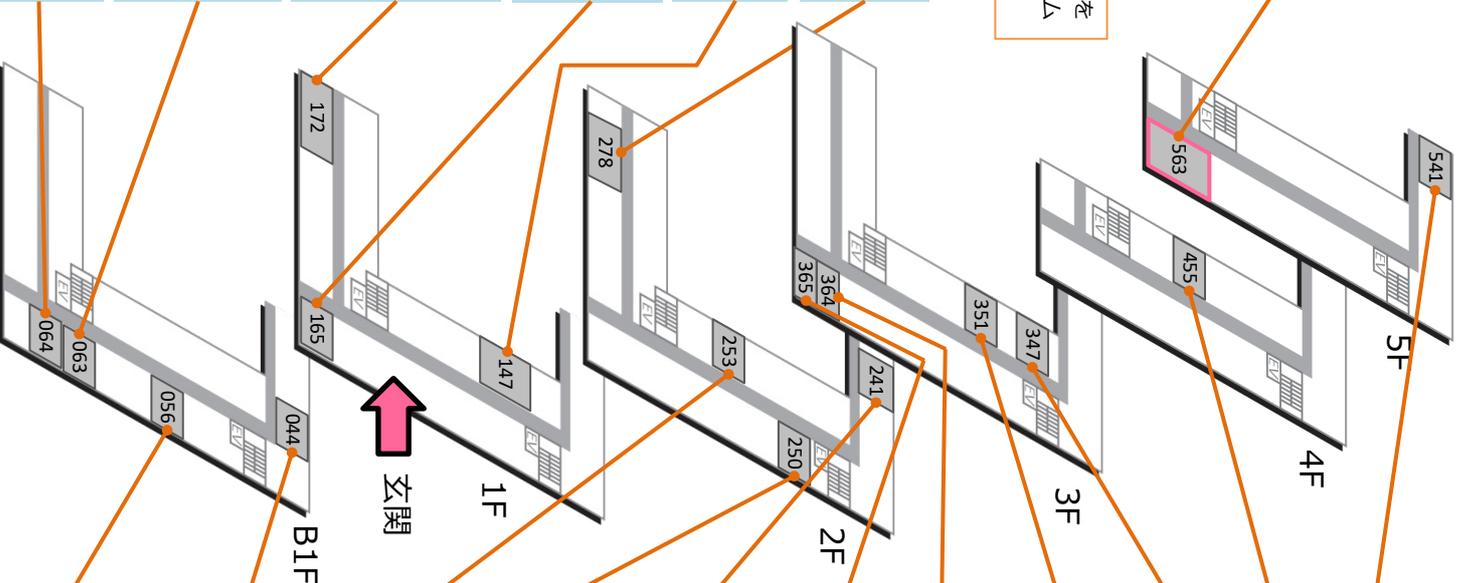
- 16:45-16:50 開会の挨拶
- 16:50-17:15 特別講演： 院生が語る地球惑星科学  
若林環 (地球熱学D1)  
瀬岡理子 (地質鉱物D2)
- 17:15-19:30 オープンラボ @ 各研究室
- 19:00-19:45 若手研究者座談会
- 19:45- 閉会の挨拶

若手研究者への質問を  
参加申し込みフォーム  
で募集しています

## ◆地質学鉱物学教室◆

- ◆ T11 地球テクトニクス  
「放射年代と同位体分析を用いた地球変動研究の紹介」@ 278  
\* 鍾乳石と樹木年輪から探る地球の気候変動 (試料に触れてみよう)  
\* ホットスポット火山活動 (映像&石) と島弧山地隆起史復元 (マツタ)
- ◆ T16 宇宙地球化学  
「地球外物質の宇宙地球化学的研究の紹介」@ 147  
隕石の顕微鏡写真観察や最先端表面分析装置の紹介のほか、はやぶさ2やはやぶさなどのリターンサンプルの宇宙化学に関する研究の紹介を行います。
- ◆ T15 地史  
「断層や褶曲が語る地史」@ 165  
断層・褶曲・岩脈などの地質構造から、地質時代のテクトニクス史を読み解くことができます。野外地質調査の様子も含めて、そのような研究の一端を紹介します。
- ◆ T14 地層  
「化石に触れよう。化石から考えよう。」@ 172  
化石は、過去地球に生息した絶滅生物の多様性を知る唯一の物的証拠です。まずはいろいろ、生物が今生きているものも、絶滅したものもの形を楽しんで下さい。そしてもう一つ、「地層の中にある化石」から、その生物の“生き様”と“死に様”を考えてみましょう。地層は時に、遠い過去の生物の「瞬間」を映しとどめているのです。
- ◆ T13 鉱物  
「ナノ・ミクロから見る鉱物・地球物質・宇宙物質」@ 063  
地球や地球外物質に含まれる鉱物のおツナノ・ミクロの顕微鏡構造は、生成やその後の様々な変遷に関する情報をもっています。このような情報をいかに引き出すか、イオンビーム微細加工装置や分析電子顕微鏡をはじめとする装置などを通して、研究を紹介します。
- ◆ T11 地球テクトニクス  
「変形実験装置見学」@ 064  
地下深部の高圧条件下での岩石変形や、地震時の断層すべりを再現することを目的として設計・製作した京大オプショナルの実験装置を紹介します。

理学部1号館 → 北



オープン参加の皆さまへ：参加登録が必須です。また、各研究室によってオープン対応方法・時間が異なりますのでご注意ください。

## ◆地球物理学教室◆

- ◆ T1 電磁気圏  
「太陽系惑星電磁気学：「研究室紹介」@ 541号室  
太陽系・惑星系・地球を電磁気学的に研究している本研究室を紹介します。」  
オープン対応 (17:15~19:30)
- ◆ 地球熱学研究施設  
「地球熱学・水圏とT3固体圏の一部」施設紹介」@ 455号室  
地球熱学研究施設で行なっている研究を紹介します。  
オープン対応 (17:15~19:30)
- ◆ T2 大気圏・水圏  
「海洋物理学：「研究室紹介」@ 347号室  
海洋物理学研究室で行っている研究を紹介します。」  
オープン対応 (17:15~18:45)
- ◆ T2 大気圏・水圏  
「気象学：「回転水槽実験と、よろず相談」@ 351号室  
回転水槽が流体運動に与える影響をみてみよう。  
併せて進学などの相談にも応じます。」  
対面のみ  
物理気候学：「VRで見える衛星降水レーダ観測データ」@ 364号室  
衛星降水レーダの観測データが可視化されたバーチャル空間で自由に(?)  
飛び回りますよ！」  
対面・オープン対応 (17:15~19:00)
- ◆ T2 大気圏・水圏  
「物理気候学：「研究紹介、よろず相談」@ 365号室  
担当は向川で、365室・Zoomのグループウェアツールで対応します。  
研究紹介などのよろず相談に対応します。」  
対面・オープン対応 (17:15~19:30)
- ◆ T3 固体圏  
「活構造学：「大地の変動を見る」@ 239・241号室  
模擬物質をもちいた「岩石破壊実験」実演中！」  
オープン対応 (17:15~19:30)
- ◆ T3 固体圏  
「測地学：「研究室紹介」@ 250号室  
測地学は、地球の形やその時間変化を計測する学問です。今回は測地学的観測でどのような現象が見えるのかをご紹介します。」  
対面のみ  
地震学：「研究室紹介」@ 253号室  
地震学研究室における研究や活動、生活などを紹介します。」
- ◆ T14 地層  
「モデルでさぐる地形と地層」@ 044  
地球型惑星の表層では流体と土砂の相互作用によって地形が変化し続け、地層が形成されます。この部屋では、数値モデルによって地球表層プロセスを再現する様子や、機械学習モデルによって地形・地層を解析する様子を展示します。  
オープン対応 (17:15~19:30)
- ◆ T12 岩石  
「岩石から探るプレート収束帯深部の姿」@ 056  
南極やアラルス・ヒマラヤなど世界各地のプレート収束域から岩石試料を持ち帰り、地下深部で起きている物質科学的プロセスやプレート収束域のテクトニクスを読み解く研究を行っています。岩石試料の展示・偏光顕微鏡薄片観察体験・実験装置の紹介を通して、研究内容の紹介を行います。」  
オープン対応 (17:15~18:00)